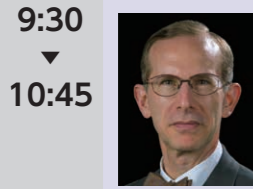


9:25 ▶ 9:30 開会のご挨拶 一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会

基調対談

K1 会場

シフト！世界を変えるデジタル化とニッポンの進む道 ～明るい未来のための、デジタルイノベーションとは



9:30 ▼ 10:45
モルガン・スタンレーMUFJ証券株式会社
マネージング・ディレクター
チーフエコノミスト
ロバート・アラン・フェルドマン氏



Change.org 日本代表
ハリス 鈴木 絵美氏



モデレータ：
一般社団法人
日本情報システム・
ユーザー協会
専務理事
金 修

12:00 ▶ 12:45 ランチョンセッション

データで見る最新サイバー攻撃の現状と企業への脅威

L1 会場

特定の企業や組織を狙うAPT攻撃と呼ばれるサイバー攻撃は、ソフトウェアの脆弱性攻撃やファイルの偽装工作といった手法が使われていますが、従来の手法では防御が困難であり、多くの企業にとってその対策が急務になっています。本セッションでは、ファイア・アイがグローバルで収集した実データによる企業ネットワーク環境におけるセキュリティの実態や、APT攻撃などの高度なサイバー攻撃の手法を紹介し、最新の対策についてご紹介いたします。



ファイア・アイ株式会社
シニア・スタッフ・リサーチ・アナリスト
本城 信輔氏

性能問題は運用だけの問題？答えはNOです！
～開発段階で実施すべき性能管理とは～

L2 会場

システムのカットオーバー後、予想以上のトランザクションが発生し性能劣化が…。そのような経験はございませんか？その原因は、設計、開発段階で性能管理ができていない事にあるかもしれません。キーワードは「リソース以外の情報」「業務データの可視化」です。性能管理のプロであるアイ・アイ・エムが「運用に入る前」に実施すべき性能管理とその効果について、お客様の事例を交えながらご紹介いたします。



株式会社アイ・アイ・エム
営業本部企画部 企画課 兼 カスタマーサポート/マーケットレビュー課
主任
池内 愛氏

13:00 ▶ 13:50 ユーザー事例セッション

進化を続ける宅急便とそれを支えるNEKOシステム

A1 会場

「宅急便」は、「サービスが先、利益は後」の理念のもと、新サービスを次々に発売、年間16億個を超える荷物を扱うまでに成長してきました。2019年の創業100周年を迎えるヤマトグループは、バリューネットワーキング構想を発表、物流を「バリューを生み出す手段」に進化させ新たなインフラとなることを目指します。

その中で、宅急便をこれまで支えてきた情報システム基盤をさらに進化させる次期「第8次NEKOシステム」構想をご紹介します。



ヤマトホールディングス株式会社
IT戦略担当シニアマネージャー
田中 從雅氏

パナソニックにおけるデータ分析・情報活用について

B1 会場

パナソニックでは、事業戦略・商品企画・開発設計・製造・販売・CS/サービスに至る各バリューチェーンにおいて、経営情報、ツイッター等の顧客・市場情報、機器ログやオープンデータ等のビッグデータを活用し、経営スタイルの革新に取り組んでおります。本セッションでは、これまでの取り組み課題、今後の方向性についてご紹介致します。



パナソニック株式会社
コーポレート情報システム部 プロセス革新センター
所長
松本 昌之氏

14:05 ▶ 14:55 コンサルティングセッション

進化するデータ・アナリティクスを支えるIT部門の役割
～分析力を武器として競争優位を創り出す～

A2 会場

分析は何のためにするのでしょうか。将来を予測し最も望ましい行動を特定するためです。それは過去の事象を説明するためではなく、仮説を立てどれだけ早く検証し行動に移すことができるかが勝負です。これを旨とするお客様の先進事例を通して、日常のオペレーションと一体化した分析プラットフォームを構築しサービスを提供できる、新しい企業情報システムの姿を考察します。



日本ティップソフトウェア株式会社
プロフェッショナル・サービス・APJ
シニア・プログラム・マネージャ
縄田 雅秀氏

製造業におけるデータ活用最前線
～ビッグデータ分析からデータ経営の実践まで～

B2 会場

データ活用で益々収益に差が出ています。センサーデータやダイアログデータ、ソーシャルデータやVOC。社内外のあらゆるデータの分析により、経営や業務を革新している企業があります。しかし、最も重要なことは「データを経営の最重要リソース」と位置づけ、全社をあげて取り組んでいるかどうかです。本セッションでは、製造業における最新のビッグデータ分析事例やデータ経営実践企業の事例を挙げ、その本質に迫ります。



日本テラデータ株式会社
コーポレート・エバンジェリスト/エグゼクティブ・コンサルタント
金井 啓一氏

15:10 ▶ 16:00 ユーザー事例セッション

ピンチはチャンス！山奥の地酒「獺祭」のグローバル戦略

A3 会場

山口の山奥の小さな酒蔵である旭酒造。日本酒「獺祭(だっさい)」が純米大吟醸で販売量で日本一となり、アメリカやヨーロッパなど、世界16か国への輸出拡大を果たした体験、逆境をチャンスに変えて成功した体験談をご紹介します。



旭酒造株式会社
代表取締役社長
桜井 博志氏

IT時代のコミュニケーションを模索する
～コミュニケーションの作法が変わる中で～

B3 会場

IT環境の変化はお客様の生活の中でのブランドや情報の接点を大きく変えました。特にお客様自身が情報を拡散するSNSは、単なるメディアミックスの多様化でなく、マーケティングやコミュニケーションの常識を根底から覆っています。「作法が変わる」。キリンが36年応援を続けているサッカーなどを例に、進化し続けるIT環境の中での新しい作法の模索をご紹介します。



キリン株式会社
執行役員 CSV本部ブランド戦略部長
坪井 純子氏

16:15 ▶ 17:05 コンサルティングセッション

約束を守る！企業・組織を守る！
レジェンド田川流、サイバー攻撃の往(い)なし方

A4 会場

近年、サイバー攻撃の対象が重要インフラや社会インフラにまで及んでおり、巧妙化・高度化するサイバー攻撃への対応には、多くの知見とノウハウが必要です。本講演では、日立グループの知見と最新の脆弱性に関する情報を生かしたインシデント対応方法や、構築・運用ノウハウを活用したセキュリティイベント監視、膨大な情報から攻撃を検知し対策につなげる等のサイバーセキュリティに関するトータルな解決策をご紹介します。



株式会社日立製作所 情報・通信システム社
サービスプロデュース統括本部 セキュリティソリューション本部
セキュリティサービス部 部長
田川 豊氏

ビジネス価値を最大化するクラウド活用の発展シナリオ
～クラウド活用の成功事例の紹介を通じて～

B4 会場

企業の多くがすでに仮想化技術を活用し、ITインフラコストの低減を図っています。しかし同時に、まだその価値を最大限活用し切れていないという課題に悩まれる方も多くいます。自分たちに最適なクラウド活用方法とは？自分たちは遅れている？進んでいる？どうすればより多くの価値をクラウドで実現できるのか？そのような疑問にお答えすべく、成功事例を紹介しながら、VUEMウェアが提唱する「クラウドジャーニー」と言われるクラウド活用の発展シナリオについて、皆様が将来像を考える材料を提供します。



VUEMウェア株式会社
プロフェッショナルサービス本部
本部長
神戸 利文氏

17:20 ▶ 19:00 交流会 (お気軽にご参加下さい)

特別講演

K2 会場

10:45 ▼ 11:45
ビジネスイノベーションを加速するICT～個客価値を最大化するマーケティング変革～(仮)
社会やビジネスにおいてICTの力で新しい価値を創り出すイノベーションがはじまっています。本セッションでは、クラウド・モバイル・ビッグデータなど最新のICTを活用したビジネスイノベーションの実践例をご紹介します。特に、オムニチャネルを活用したマーケティング変革に関する弊社の取り組みと、それらを支える商品・サービスをご説明します。

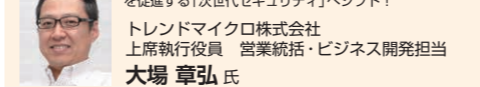


富士通株式会社
執行役員常務
松本 端午氏

企業変革のスピードを加速させる、クラウド時代の次世代セキュリティ

L3 会場

クラウド、仮想化、モバイル、IoTなど、新しいIT技術を活用した企業変革が期待される一方で、不正侵入、脆弱性に関する攻撃、POSやATMの脅威など、企業を狙う脅威も変化しています。そのような環境において、セキュリティの課題が変革のスピードをゆるめずに成長するためには何が必要なのでしょう。本講演では、被害事例から企業のセキュリティ課題を紐解き、成功する企業の事例からその解決策をご紹介します。今こそ、変革を促進する「次世代セキュリティ」へシフト！

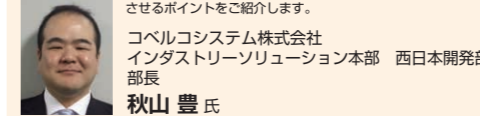


トレンドマイクロ株式会社
上席執行役員 営業統括・ビジネス開発担当
大場 章弘氏

事例に学ぶ、環境変化に強い経営を可能にするITモダナイゼーション

L4 会場

長年使い続けた基幹システムが、ビジネス環境の変化のスピードについていけないケースは少なくありません。その解決方法として、Javaを中心にオープン性の高い技術を取り入れてシステムを刷新する「ITモダナイゼーション」があります。これまでにない急速なビジネス環境の変化に対応するためには、ビジネスの根幹である基幹業務システムを複数かつ柔軟に対応できるように強化することが重要です。各社様の取り組み事例を交えて、ITモダナイゼーションを成功させるポイントをご紹介します。

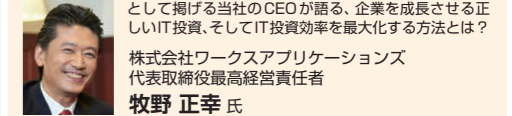


コベルシステム株式会社
インダストリーソリューション本部 西日本開発部
部長
秋山 豊氏

正しいIT投資が企業を成長させる
～IT投資効率を最大化する方法～

L27 会場

本来、経営効率の改善に資するべきIT投資が、むしろ競争力向上の足枷になっている。そんな日本企業の矛盾を解決するため、ワークスアプリケーションズは設立されました。IT投資は、企業の成長や競争力を大きく左右します。「日本企業の情報投資効率を世界レベルへ」を企業理念として掲げる当社のCEOが語る、企業を成長させる正しいIT投資、そしてIT投資効率を最大化する方法とは？



株式会社ワークスアプリケーションズ
代表取締役最高経営責任者
牧野 正幸氏

松花堂弁当つき

13:15 ▶ 14:55 ディスカッションテーブル

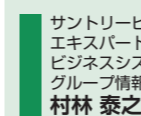
Let it go！オムニデバイスへの道
[2020: The Road to Omni-Devices]

C1 会場



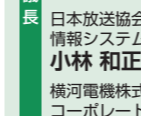
議長
ライオン株式会社
統合システム部長
宇都宮 真利氏

コンピューターデバイスは、ウェアラブル端末のように、どんどん小さく、また形も多様になり、新たな活用方法が出現しています。企業内でも、モバイル化でいつでもどこでも仕事ができるようになり、タブレット端末も様々な現場で使われるようになりました。一方で、多種多様な端末の管理、セキュリティ確保、ワークライフバランスなどの課題も指摘されます。売上、生産性、コスト、安全、環境、etc… 様々な経営課題解決のためにデバイスを起点に何ができるのか、現在の活用例や課題を整理するとともに、2020年を1つの目安として、考えられるサービスや業務の変革の可能性、IT部門の関わり方などを議論していきたいと思



副議長
サントリービジネス
エキスパート株式会社
ビジネスシステム本部
グループ情報システム部 部長
村林 泰之氏

住友生命保険相互会社
情報システム部 担当部長
汐満 達氏



副議長
日本放送協会
情報システム局長
小林 和正氏

横河電機株式会社
コーポレート本部
YGSP 部長
今川 克巳氏

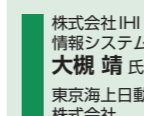
ITが起点となる業務改革
なぜできたのか、なぜできなかったのか

D1 会場



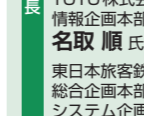
議長
株式会社資生堂
情報企画部長
龜山 満氏

IT部門が業務改革を仕掛けるには、何に気を付けて、どう動けばいいのかが綺麗な成功事例だけでなく、「どう業務部門の中に入り込んだか」という実践の苦労や、「本当はここまでやりたかった」、「ここがネックになっていた」という本音が交えて、今後どう動くべきか、掘り下げた議論をしていきます。ゴールは、業務改革の成功体験を参考にすることではなく、ディスカッションをヒントに、自社にあったやり方を皆さんが見つ



副議長
株式会社IH
情報システム部 部長
大槻 靖氏

東京海上日動火災保険株式会社
IT企画部 部長
三宅 晃氏



副議長
TOTO株式会社
情報企画本部 本部長
名取 順氏

東日本旅客鉄道株式会社
総合企画本部
システム企画部長
大内 敦氏

これからのITの新定義って？みんなで考えよう、
「我がBIZ-IT」

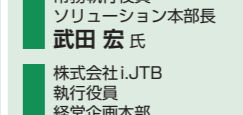
E1 会場

～ITとビジネス一体化時代の情報子会社のシフトについて



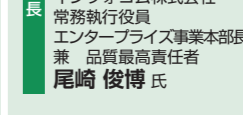
副議長
アサヒビジネス
ソリューションズ株式会社
常務執行役員
ソリューションズ本部長
武田 宏氏

ITとビジネスとの明確な線引きが難しくなりつつある今、ITがメインではない事業でも、ITの可能性を前提とした新たな仕掛けが必須とされる時代の潮流が、待たなしに押し寄せています。そんな今、ITだから取り組めること、仕掛けておきたいことは、何なのでしょう。例えば、開発のあり方、働き方、ビジネスとの関わり方…どうシフトを起こしていけばいいのでしょうか。ワクワクする未来のために、皆さまと一緒に元気の出る議論をして参ります。



副議長
株式会社iJTB
執行役員
経営企画本部
システム企画部長
田村 直樹氏

千代田システム
テクノロジー株式会社
常務執行役員
IT事業本部長
N-IT事業ユニットGM
加藤 亨氏



副議長
インフォコム株式会社
総合企画本部
システム企画部長
尾崎 俊博氏

15:25 ▶ 17:05 ディスカッションテーブル

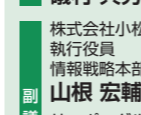
ビジネス部門とIT部門の一体感
～最強のIT人材を～

C2 会場



議長
東京ガス株式会社
IT活用推進部長
磯村 典秀氏

予測できない変化が繰り返されるこの時代、多くの企業が変革を強いられています。そして、この時代の変化を加速しているのはITの力と言っても過言ではありません。いまや、私たちの日常でもITに支えられており、人々は繋がりあいコミュニティを創り、ソーシャル・ネットワークが国家体制をも動かす時代となりました。そして、ビジネスにおいても、ITを使って、どうやって顧客との距離を縮めるのか、意思決定のスピードを速めるのか、ITがビジネス創出に直接的に寄与する時代となりました。ITを活用してビジネス貢献を実現するのは、誰がリーダーシップを発揮すべきか。ITの目利き力がある、かつビジネス貢献の視点を持つ人はどうやって育成すればよいか。ビジネス部門とIT部門のあり方は、いかにあるべきか。本ディスカッションテーブルでは、ビジネス部門とIT部門の一体感を持って邁進するには、何が必要か、皆様と議論してまいります。



副議長
株式会社小松製作所
執行役員
情報戦略本部長
山根 宏輔氏

サッポログループ
マネジメント株式会社
取締役
グループIT統括部長
石原 睦氏

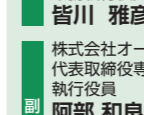
情報システム子会社の「ないはん」と「がいはん」

D2 会場



議長
スミセイ情報システム
株式会社
常務執行役員
皆川 雅彦氏

ユーザー系情報システム子会社ならば、一度は議論した事があるであろうテーマ「外販」と「内販」。時代の流れとともに情報システム子会社に求められる役割も、様々な変遷を見せています。また、新たなサービスやデバイスの台頭、仮想化に代表されるような新たな技術、親会社のマーケットの変化とそのハイスピード化による、グローバル対応やマルチスキル対応など、今日のキーワードにより「外販」「内販」の議論も複雑化しています。この普遍的であり且つ最も今日的の言えるテーマについて、事例を交えたディスカッションにより、より深まった議論を行うことにチャレンジしてみたいと思います。



副議長
株式会社ユーコット・
インフォテクノ
取締役
秋山 毅氏

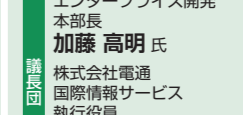
ガラパゴスからの脱却！
～今、情報子会社に求められる強さを
発揮するための人材活用とは～

E2 会場



議長
株式会社エクサ
執行役員
エンタープライズ開発
本部長
加藤 高明氏

新たなビジネス戦略へのスピーディーな対応や企画・提案力が、情報子会社に求められるようになっていきます。一方で、大規模プロジェクト等で協力会社に委託してきた結果、社員のノウハウが不十分になったのではないかとこの危機感も持っています。情報子会社が本来持つべき強さとは何か、人材活用はどうあるべきかなど、日経BPの木村岳史記者も交えて議論していきます。



副議長
株式会社電通
国際情報サービス
執行役員
コミュニケーションIT
事業部
ビジネスユニット長
大金 慎一氏

株式会社東レ
システムセンター
取締役
Eソリューション事業部長
池田 幸一郎氏